

半導体関連産業の集積促進に関する  
社会資本整備に係る緊急要望

令和5年（2023年）8月

熊本県



本県に未曾有の被害をもたらした平成28年熊本地震、令和2年7月豪雨災害においては、地方負担の最小化のため手厚い御支援をいただき、改めて深く感謝申し上げます。

本県は財政基盤が脆弱である中、これらの大規模災害に相次ぎ見舞われ、国の御支援をいただきながら、復旧・復興に全力で取り組んでいます。

中でも球磨川流域全体の安全安心を実現するため、命と清流を守る「緑の流域治水」を国と連携して強力に推進しているところです。また、道路においても豪雨や地震等の自然災害に対して強靱な道路ネットワークを構築するため、県内全域において、幹線道路の整備や防災対策等に全力で取り組んでおります。

異常気象による災害が頻発する中、本県では国土強靱化に向け、河川や道路等の社会基盤の整備を更に推し進める必要があります。

このような中、経済安全保障を担う国家プロジェクトとして世界的半導体企業TSMCの新工場建設が進んでいます。さらに、本年6月には同社が本県に第2工場を建設する意向を明らかにするなど、今後更なる企業集積の進展が見込まれます。

これらは、本県の未来を明るく照らす動きである一方、新工場の円滑な稼働のためには、道路や空港アクセス鉄道、さらには上下水道等の社会資本を短期・集中的に整備する必要があります。今後多額の財政負担が見込まれます。

本県としましても、「新生シリコンアイランド九州の実現」を目指し、覚悟を持って最大限の取組みを進めていく所存ですが、財政基盤が脆弱な本県のみで、多額の財政負担を担うこととなれば、財政の更なる逼迫を招きかねず、別枠での予算措置など国による一層の御支援が不可欠です。

国におかれては、次の事項について、国家プロジェクトとして必要な財源を確保いただきますようお願いいたします。

令和5年8月

熊本県知事

蒲島郁夫

熊本県議会議長

淵上陽一

# 目 次

1	道路整備推進	1
	【財務省、国土交通省】	
2	阿蘇くまもと空港アクセス鉄道整備に向けた支援	3
	【財務省、国土交通省】	
3	排水対策への支援	4
	【総務省、財務省、経済産業省、国土交通省、環境省】	
4	新規工業用水供給への支援	5
	【総務省、財務省、農林水産省、経済産業省、国土交通省】	

# 国への要望内容

## 1 交通渋滞解消のための道路整備

○中九州横断道路や、県が進める道路整備の加速化に加えて、中九州横断道路と企業集積地を直接結ぶ道路の整備など抜本的対策が必要。

○今後の半導体関連産業の集積を踏まえた交通渋滞解消に必要な予算の確保について、**本県への補助・交付金の重点交付**や**別枠での予算措置**など、国による最大限の財政支援をお願いしたい。

## 2 空港アクセス鉄道の整備

○半導体関連産業が集積する地域を通り、熊本市中心部に至るJR豊肥本線と阿蘇くまもと空港とを結ぶ空港アクセス鉄道の整備が必要。

○企業集積地における人流と物流を支える交通インフラとして、道路整備に加え、公共交通への転換を図るために公共交通網の充実・強化も求められていることから**最大限の財政支援**をお願いしたい。

## 3 下水処理場の整備

○半導体工場の更なる立地が見込まれる場合、工場排水に対応する新たな処理場の整備が必要。

○平成15年度から新規箇所への交付が行われていない「**特定公共下水道事業**」の**新規採択**を認めていただきたい。

## 4 新規工業用水の整備

○地下水のみに頼らない豊富で低廉な工業用水の新規整備が必要。

○新規建設事業が補助対象外とされているが、**浄水場の建設、管路整備等の大規模施設整備への財政支援**をお願いしたい。

# 半導体関連産業の集積促進に向けた道路整備推進

## 要望事項

【財務省、国土交通省】

### 半導体関連産業の集積に伴う交通渋滞解消に向けた道路整備への財政的支援

#### 【要望の内容】

国家プロジェクトであるTSMCの進出をはじめとする半導体関連産業の集積には、道路ネットワークの整備が必要不可欠であり、国及び県、周辺市町が連携し、時間的緊迫性をもって進めることが重要である。

このため、中九州横断道路や、県が進める道路整備の加速化に加えて、中九州横断道路と企業集積地を直接結ぶ道路の整備など抜本的対策が必要であり、今後の半導体関連産業の集積を踏まえた交通渋滞解消に必要な予算の確保について、本県への補助・交付金の重点交付や別枠での予算措置など、国による最大限の財政支援をお願いしたい。

#### 【現状・課題】

世界的半導体企業であるTSMCが進出するセミコンテックパーク周辺地域は、従前より、通勤時間帯を中心に激しい交通渋滞が発生しており、県及び周辺市町においては、半導体関連企業の集積に伴い、新たに発生する交通需要に対応するため、将来の基幹となる道路ネットワークの中から優先度の高い路線を選定し、集中的に整備を進めている。

そうした中、当該地域では、本年5月にソニーグループが新たな企業用地を取得する計画を公表し、6月にTSMCが日本における第2工場の計画では熊本を優先的に検討する意向を明らかにするなど、今後更なる企業集積の進展が見込まれる。このため、中九州横断道路や、県が進める道路整備の加速化に加えて、中九州横断道路と企業集積地を直接結ぶ道路の整備など、更なる抜本的な対策が必要な状況にある。

今後、国家プロジェクトであるTSMCの進出を契機とした「新生シリコンアイランド九州」の実現につなげ、その効果を九州はもとより日本全体に波及させるためには、周辺道路整備を集中的に進め、半導体生産拠点に関連する物流の効率化・人流の円滑化を図る必要がある。

県としては、当該地域の交通渋滞解消に向けた抜本的対策として、概ね10年以内を目途に周辺の道路整備を集中的に進める必要があると考えている。そのために、今後10年間で約300億円の事業費が必要となり、県内の他の道路事業から最大限捻出した場合でも、約250億円の不足が見込まれるため、この財源確保が大きな課題となっている。

また、今後、当該地域において、更なる半導体関連企業の集積を図るにあたっては、進出意向のある企業に対して、交通渋滞解消に向けた道路整備の将来像を示し、国及び県、周辺市町が時間的緊迫性を持って進める必要がある。しかし、財源確保への懸念から整備スケジュール等を明確に示せないことが企業の投資計画に影響し、企業活動及び地域経済に深刻な影響を及ぼすことも懸念される。

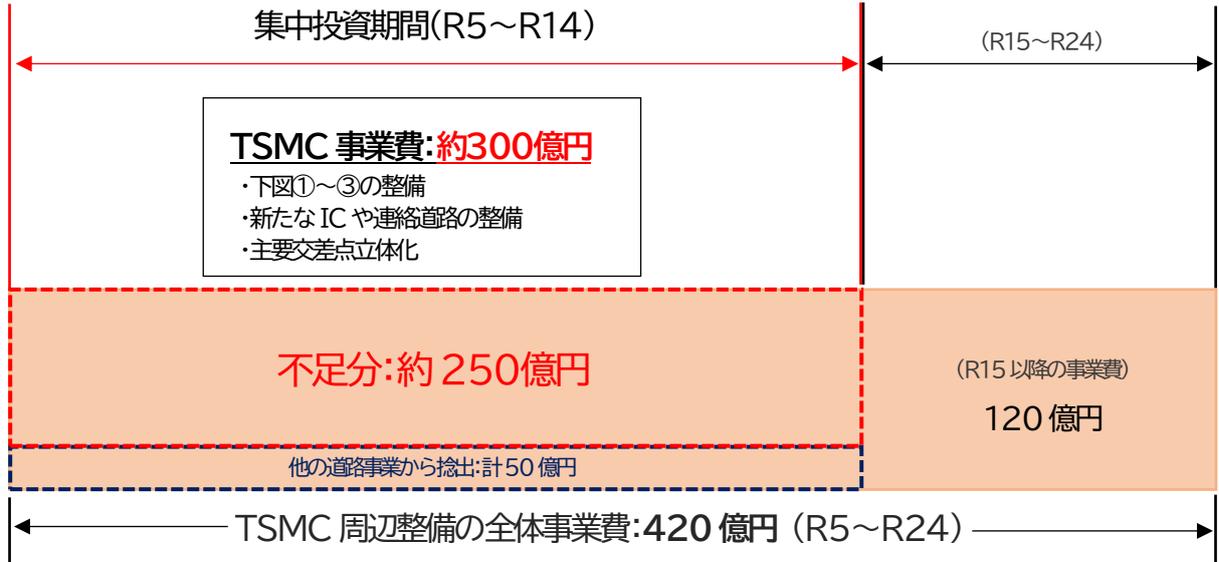
こうしたことから、本県における半導体関連産業の集積に伴う交通渋滞解消に向けた道路整備については、半導体の安定供給確保に向けた国家プロジェクトの一環として、国を挙げての最大限の財政支援をお願いしたい。



セミコンテクノパーク周辺の渋滞状況（国道57号）



セミコンテクノパーク周辺の渋滞状況（菊陽町道）



### 半導体産業集積地（セミコンテクノパーク）周辺の道路整備について



※本図は現時点におけるイメージであり、色調や輪郭などが変更になる可能性があります。

# 阿蘇くまもと空港アクセス鉄道整備に向けた支援

## 要望事項

【財務省、国土交通省】

### 阿蘇くまもと空港アクセス鉄道の整備に対する財政支援

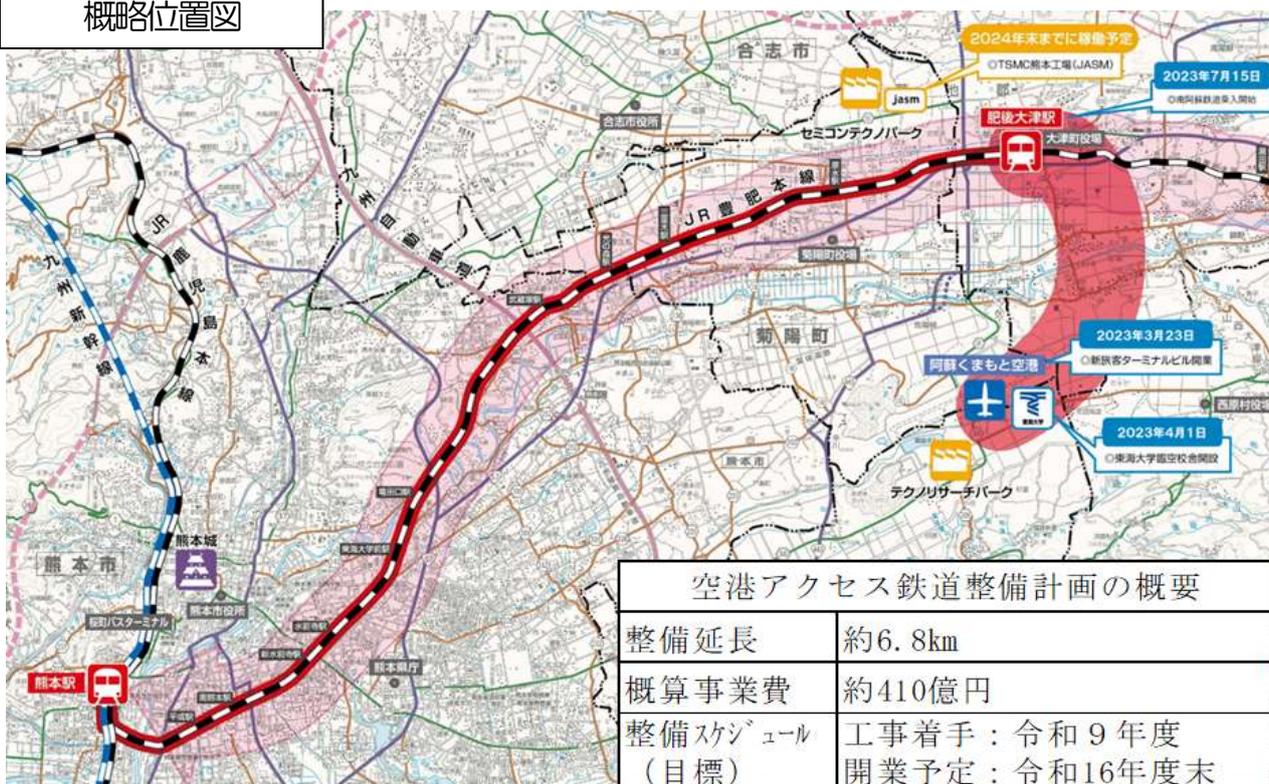
#### 【要望の内容】

半導体関連産業が集積する地域を通り、熊本市中心部に至るJR豊肥本線と阿蘇くまもと空港とを結ぶ空港アクセス鉄道の整備に対し、企業集積地における人流と物流を支える交通インフラとして、道路整備に加え、公共交通への転換を図るために公共交通網の充実・強化も求められていることから、本事業の意義を鑑みた最大限の財政支援をお願いしたい。

#### 【現状・課題】

- ・シリコンアイランド九州の中心地としての拠点性を高める視点も併せ持って、長年の懸案であった空港アクセスの改善検討を実施。
- ・令和4年12月に、JR豊肥本線肥後大津駅と空港とを結ぶ「肥後大津ルート」での整備方針を決定し、令和9年度の工事着手を目標に、具体のルート線形等の検討にも着手している。
- ・空港アクセス鉄道の需要予測では、リムジンバスや自家用車などの既存アクセス手段から転換する空港利用者が相当数見込まれており、これらの転換が、企業集積地を含む阿蘇くまもと空港周辺の自動車交通の減少に資すると考えられるとともに、接続する公共交通網の整備等と相まって、当該地域の道路渋滞の緩和にも効果を発揮していくものと期待。
- ・また、移動方法の転換によるものだけでなく、渋滞の緩和による二酸化炭素排出量の削減効果も期待できる地域にとって重要な事業であるが、県においてもTSMCに関連する多額の財政支出が想定される中、整備の実現には国の思い切った支援に頼らざるを得ない。

#### 概略位置図



# 半導体関連産業の集積促進に伴う排水対策への支援

【総務省、財務省、経済産業省、国土交通省、環境省】

## 要望事項

### 半導体関連産業の集積促進に伴う排水対策への財政的支援

#### 【要望の内容】

半導体の国内安定供給の基盤を強化するため、集積に伴い増加する工場からの排水を適正かつ確実に処理する特定公共下水道事業を新規採択のうえ、所要の財政措置を講じていただきたい。

#### 【現状・課題】

世界的半導体企業であるTSMCの進出を契機とした半導体関連産業の集積の動きが活発化しており、国内における半導体産業基盤の強化に加え、雇用拡大や定住人口の増加など地方創生の効果も大きく期待されているところ。

一方で、今後更なる半導体関連産業の集積に伴い工場排水の増加が見込まれるため、既存処理場の能力不足が懸念されていることから、工場排水に対応する新たな処理場の整備が必要になる。

しかしながら、工場排水を処理するための下水道事業である特定公共下水道事業については、平成15年度から新規箇所への交付が行われていないため、本事業での新規採択を認めていただく必要がある。

事業実施にあたっては、企業の操業までの限られた期間で大規模な下水道施設の整備が必要となることや、近年、特定公共下水道による処理場新設の実績がない状況に鑑み、本県における半導体関連産業の集積に伴う排水対策については、半導体安定供給確保に向けた国家プロジェクトの一環として、国を挙げての最大限の支援をお願いしたい。

#### 「特定公共下水道」事業の財源内訳

国負担 (2/9) 62.2億円	地方負担 (4/9) 下水道事業債 124.5億円		企業負担等 (3/9) 93.3億円
	交付税措置 (49%) 61億円	63.5億円	
国負担 44.0% 123億円		地方等負担 56.0% 157億円	



# 半導体関連産業の集積促進に係る新規工業用水供給への支援

## 要望事項

【総務省、財務省、農林水産省、経済産業省、国土交通省】

## 半導体関連産業の集積促進に係る新規工業用水供給に伴う浄水場等の整備への財政支援

### 【提案・要望の内容】

半導体の国内安定供給に資する工場の進出に対し、地下水のみに頼らない豊富で低廉な工業用水の新規供給に必要な浄水場の建設、管路整備等の大規模施設整備への財政支援をお願いしたい。

### 【現状・課題】

- 1 J A S M第1工場の建設が進む熊本県北部においては、ソニーグループの土地取得やJ A S M第2工場候補地としての優先的検討など半導体関連企業集積の動きがさらに活発化。一方で、局地的な地下水採取量の大幅増加による地下水位低下等への影響が懸念されている。
- 2 こうした中、河川水を水源とする有明工業用水道の未利用水を活用した工業用水供給の事業化に向け、施設整備に係る基本設計等の検討や関係機関・団体との協議に取り組んでいるところ。
- 3 事業化に当たっては、民間活力の活用や既設の農業用パイプラインの利用によりコスト縮減や工期短縮を図るものの、浄水場等の整備には多額の初期投資を要することから、国による財政支援が不可欠。現行の補助金交付要綱上、新規の建設事業は補助対象外とされている。
- 4 なお、農業用パイプラインを活用した河川水による工業用水供給は、半導体企業進出のための環境整備の一環となることに加え、農業用パイプライン利用料負担を通じた農業関係者の負担軽減、工業用水道未利用水の活用による企業局の経営改善を通じた県内産業の更なる振興につながるなど、多方面に資するものである。

事業概要	施設整備内容	浄水場、浄水場と既設パイプライン等を結ぶ管路 等
	概算事業費	約 150 億円



